

サギチョウ 大磯の左義長のあらし

大磯の中でも下町といわれる北浜海岸沿いの9地区において、古くから続く小正月（1月15日前後）に、家内安全、無病息災を願って行われるセエノカミサン（道祖神）の壮大な火祭です。正月飾りを集めた高さ7～8mのサイトに、その年の恵方の方角から一斉に点火され、その壮観さは夜空を焦がすがごとくです。竹の竿に取り付けた針金挿ししただんごを、サイトの火で焼きます。「大磯の左義長」は国指定の重要無形民俗文化財です。

イチバンムスコ 一番息子 12月8日 坂下

大磯の左義長は前年の事八日といわれる12月8日の「一番息子」という行事から始まります。セエノカミサンの祠に置かれているゴロ石と呼ばれる真ん中がくびれた石に縄をつけ、子どもたちが家々を巡り、「〇〇さんにいいお嫁さんが来ますように、いちばんむすこ」などと家人に頼まれた願いを唱えながら玄関先で石を地面にドンドンと打ちつけ、賽銭（さいせん）をもらいます。この賽銭で子供達は風邪をひかないよう豆腐を食べるといって厄災招福の行事です。地元ではこれが正月行事の始まりだといわれています。



セエトバレエ

北浜海岸に13日9基のサイトが建てられます。尖端から大穂竹（おんべ竹）が突き出し、その穂先に書初めや輪飾りや極彩色のいろいろなものが浜風に音をたててたなびき、周囲にはご用済みのだるまや神社のお札などが差し込まれて、まさに奇観です。その年の恵方の方角が火の点け口となり18時30分頃に一斉に点火されます。



昔はほとんどの家で門松を立てたからサイトの材料に困ることはなく、藁（わら）が燃えた後にはお飾りが顔をだしたもんだ。今は材料集めに苦労するよ。燃やした書初めが高く舞い上がると腕が上がるなどといわれているよ。松の燃え炭を屋根に載せておくと「火災除けのまじない」になるといわれ、持ち帰ったもんだ。



ヤンナゴッコ

サイトの燃え上がった炎がオンベ竹に届き始めると、四方に張られたオンベ網が外され、恵方の方位に倒されます。その頃になると、子の神、大北、長者町の3か所のサイトの海側では、禪姿（ふんどしすがた）の若い衆が伊勢音頭（左義長音頭）を唄いながら火の周りに集まり、「ヤンナゴッコ」と呼ばれる綱引きが始まります。ソリ型の台に乗せた悪霊、疫病神（ヤクビョウガミ）が押し込まれている藁縄で編まれた「仮宮」を海に引き入れ、浜方と陸方との引き合いが行われます。3回引き合いを繰り返すと岸で「仮宮」は踏み潰され壊され、疫病神を退治します。



海に入る浜方の若衆は魚であると言われていて、それを引き上げ豊漁を願うため、必ず陸方が勝ちますよ。

ごろ石は男子が生まれたり、大人になると考えられていた7歳に、健やかな成長を願い道祖神に奉納する石で、かつては香の籾形に中央を削った石を祠近くの土中に埋めました。地面を打つのは魔除けの意味もあり、事八日に訪れるといわれる「目一つ小僧」を追い払う行事でもあるよ。豆腐を食べるのも「豆粒」（まめつぶ）が「磨滅」（まめつ）に通じると考えられていたからでしょう。



ミチキリ 道切り

下町通りでは、隣の地区と堺の辻に、幣束と大根を挿した注連縄（シメナワ）を張り「みちきり」をします。みちきり提灯（チョウテン）も飾られます。山王町、大北地区にはありません。



各町の境を表示するもので、いわゆる悪魔祓いのおまじないです。

ナナトコマイリ オカリヤ 七所参り・お仮屋

かつて、松の内（1月7日）が過ぎると子供達は正月のお飾りを集めに歩き回りました。8日に下町通りに木造の組立式のセエノカミサンのお仮屋が作られ、子供達が籠ります。あげられた賽銭は子ども達の小遣いとなります。地元の人たちはセエノカミサンにお参りして歩きます。特にセヶ所に参ることを七所参りといいます。今日ではセヶ所から一つ増えて「七所参って八所（ヤマトコ）せ」などとはやします。



町内によっては商売繁盛を願う「オカリコ」という行事が行われます。 1月10日～12日



- 坂下（さかした）
- 浜之町（はまのちょう）
- 大泊（おおどまり）
- 子の神（ねのかみ）
- 中宿（なかじゅく）
- 浅間町（せんげんちょう）
- 大北（おおきた）
- 長者町（ちょうじゃまち）

1月10日～1月12日 9:00～21:00
② 浜之町は13日16:00まで飾りがあります。



左義長の日は、全世帯に「あかまんま」ってささげで色をつけたおむすびを配ったもんだよ。



スタンプ設置場所 お仮屋

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

- ✕ 道切り
- ダンゴ販売所（裏面参照）
- ▲ サイト「北浜海岸」には大磯駅から徒歩10分

0 100 250 500m

大磯の左義長と関連行事・イベントの流れ（日時は変更されることがあります。）

行事	場所	12月				1月										
		8日(土)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)										
						午前中	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
一番息子	坂下	→														
七所参り	下町通り		→	→	→											
みちきり	下町通り		→	→	→											
お仮屋	下町通りほか		→	→	→											
セエトバレエ	北浜海岸															
ヤンナゴッコ	北浜海岸															
スタンプラリー	観光案内所で記念品			→												
映画会	東光院															
磯汁サービス	献灯提灯おもてなしコーナー															
左義長ガイドツアー	大磯駅集合															



シマザキ トウソン 島崎藤村と大磯の左義長

島崎藤村は、大磯に伝承されてきた民族行事の大磯の左義長に心動かされ、日ごろ敬慕する西行法師の面影を伝える鳴立庵や茶室如庵（のちに犬山市へ移された）など、数々の好条件に心引きつけられて大磯に移り住みました。島崎藤村の墓は、「地福寺」にあります。